

日本文体論学会
第 120 回大会
プログラム

2024 年 6 月 23 日（日）

於 福岡女学院大学

（ZOOM によるオンライン配信有）

日本文体論学会

日本文体論学会 会員の皆さま

数年来の感染症パンデミックを経て、大会開催のあり方について大会運営委員会を中心に検討し、試行錯誤をしてきました。完全オンラインによる開催、対面とオンラインを併用したハイブリッド開催など、新たな様式も取り入れて会員の方々の研究に寄与できるよう努めて参りました。ここまでご尽力いただきました方々に御礼申し上げます。

また、行動制限から大会開催も小規模なものとなっておりましたが、今回の大会は数年続いた東京での開催から、福岡での開催となりました。そして、これまでも実施してきたオンラインでの配信も取り入れ、全国（世界中から）参加できるような仕組みも継続していきます。様々な事情で出張が難しい会員の方のためにも今後もこのような形で大会開催を行ってまいります。そのためには会員の皆様の積極的な研究発表が必要となります。

今回の大会が120回大会で、これまで多くの知がこの場から生み出されてきたことを誇りに思い、今後も文体論学会の持続的展開を考えて参ります。

2024年5月
日本文体論学会
会長 倉林 秀男

日本文体論学会第 120 回大会 2024 年 6 月 23 日 (日)

福岡女学院大学 125 周年記念館 1F ラーニング・commons

(Zoom によるオンライン配信有)

10:30 受付

11:00 開会

開会のことば

会場校あいさつ

会長 倉林 秀男 (杏林大学)

能勢 卓 (福岡女学院大学)

研究発表 (発表時間 25 分、質疑応答 10 分)

司会：八木橋 宏勇 (杏林大学)

(1)11:10 菊地 礼・貝森 有祐 (日本語：長野工業高等専門学校・流通経済大学)

「レトリックとしての引用—自己啓発書の分析を通して—」

(2)11:45 立本秀洋 (日本語：大阪電気通信大学)

「現代社会での言葉の運用状況に見る私的領域の拡張」

昼食休憩

研究発表 (発表時間 25 分、質疑応答 10 分)

司会：大島 一利 先生 (福岡女学院大学)

(3)13:30 飯塚 剛将 (ラテン語：個人研究者)

「ペトルルカと宗教詩理論に関する一考察：『悔悛詩篇』と修辞技法«cursus»を中心に」

特別講演

14:15 堀 正広 先生 (熊本学園大学)

司会：能勢卓 (福岡女学院大学)

「これからの文体研究：認知文体論・歴史文体論・教育文体論」

15:45 総会

16:00 閉会のことば

16:10 特別企画 —学会誌編集委員経験者と話してみよう—

—大学院の先にある仕事やキャリアをこっそり教えます—

オンラインでの参加を希望される方は、6 月 17 日 (月) までに、[こちら](#)または下記の QR コードからお申し込みください。追って、参加に必要な情報をメールでお届けいたします。



研究発表要旨

(1) 「レトリックとしての引用—自己啓発書の分析を通して—」

菊地 礼・貝森 有祐 （日本語：長野工業高等専門学校・流通経済大学）

本発表は自己啓発書において引用がレトリックとして用いられることを明らかにする。論文などの学術的文章では、引用は主に情報の出典を示すために用いる。一方で、自己啓発書では、情報の出典を示さない引用が多々見られる。これまでの引用研究（藤田 2000 など）では、引用の運用や機能への言及は多くない。よって、本発表は自己啓発書の引用の果たす機能を分析する。

そのために「心理学」をタイトルに冠した自己啓発書 25 冊から学術研究に言及した部分を抽出してコーパスを構築した。本コーパスに基づいた定量分析と事例の定性分析を組み合わせる。主に、引用の形式と内容（どのような文献名、組織名、学者名などを引用するか）を整理する。

分析の結果、このような引用は「ファスト教養」（レジュー2022）の一環として、専門家がすでに検証・実証したものとして情報を提示し、非専門家である読者へ「効率よく」知識を伝達する方略だと分かった。このような引用は、権威を提示して知見やメソッドを読者に説得的に伝えるレトリックとして位置付けられる。

このような説得のレトリックとしての引用は、SNS などでも散見される。新規的なデジタルコミュニケーションにおける引用研究の可能性も開かれる。

(2) 「現代社会での言葉の運用状況に見る私的領域の拡張」

立本秀洋（日本語：大阪電気通信大学）

本発表では、現代社会での言葉の運用状況に見られる特徴から、人々の心的特徴を考える。

インターネットや SNS の普及による表現手段の大衆化により、現代ほど人々が言葉を用い、多数の受け手に向けてメッセージを発する時代はかつてなかった。公的領域での言論による自己開示こそが人間の条件であるというハンナ・アーレントの定義を適用すれば、現代以上に人間の条件が整った時代はないはずである。

ところが、SNS 上や語学授業における受講生の回答内に現れる言葉を見ると、言論活動に不可欠であるはずの言葉が現代の人々によって大切に扱われているという印象は薄い。端的にいえば、伝達内容の重要度と、実際に使用される言葉の統辞的精巧度が比例していない。

本発表では、ジャン＝フランソワ・リオタール、スラヴォイ・ジジェクらの思想を頼りに、現代における言葉の運用状況の背景には、公的領域と私的領域の分割線の曖昧化、反省という契機の喪失などがあると結論し、生産的な言語活動が可能な場の必要性を訴える。

本発表は主に言葉の運用の現状分析にとどまり、未来への展望、また、過去のある特定の時期における運用状況との比較分析を今後の課題とする。

(3) 「ペトラルカと宗教詩理論に関する一考察：『悔悛詩篇』と修辞技法«cursus»を中心に」

飯嶋 剛将 （ラテン語：個人研究者）

本研究では、イタリア・ルネサンスを代表する人文学者、フランチェスコ・ペトラルカのラテン語宗教詩『悔悛詩篇』 *Psalmi penitentiales* を対象として、ペトラルカの宗教詩に関する理論について、また、詩と宗教をつなぐ「文体」について考察を行う。

『悔悛詩篇』は、長い間、ペトラルカの宗教的告白が記された作品として文学的観点から研究がなされてきた。しかしながら、文体論的観点からは、「聖書の「詩篇」をモデルとした散文詩である」以上の説明がなされることはなかった。

この流れに対して、Pietrobon (2019) は、『悔悛詩篇』内に見出される中世ラテン文学の修辞技法«cursus»の観点から、『悔悛詩篇』のもつ律動的特徴を明らかにした。しかし、Pietrobon の研究は、「cursus」の単なる指摘にとどまっており、なぜ«cursus»を用いたかなどの、ペトラルカの理論的背景に光が当てられていない。

したがって、本研究では、ペトラルカの宗教文学理論を詳細に検討し、彼が『悔悛詩篇』を執筆する際にどのような意図を持っていたかを解明する。それにより、ペトラルカの宗教詩論や文体論に新たな洞察を提供したい。

特別講演要旨

「これからの文体研究：認知文体論・歴史文体論・教育文体論」

堀 正広 先生（熊本学園大学）

この10年余りの間に英語文体論についての包括的な論文集や啓蒙書が立て続けに出版されている。これらの書物から分かる文体研究の現状と動向の特徴として、次の4点を挙げることができる。(1) 新しいメディアの文体研究や原作と翻訳の文体比較のような文学作品以外の新しい文体研究、(2) コロケーション、n-gram、統計処理などの分析結果を利用したコーパス文体論、(3) 英語史とは異なる英語表現史としての文学作品の通時的な文体研究、(4) 認知言語学やテキスト理論などを援用した新しい文体研究。

本講演では、これら4点を概観した後、文学作品の文体研究に焦点を当て、これからの文体研究として、認知文体論・歴史文体論・教育文体論の分野を扱う。認知文体論では、Culperper (2001) の理論的な枠組みを参考にして、言語と登場人物の性格描写の関係を論じる。歴史文体論 (e.g. Auer et al. 2016, Hori et al. 2019) では、英国小説の勃興期から20世紀までの小説の body language に関して通時的な表現史を試みる。最後に、教育文体論 (e.g. Widdowson 1992, Saito 2016, 堀 2024) では、俳句の複数の英訳の比較による文体論の語学教育と言語学教育への応用を提案する。

会場参加者向け

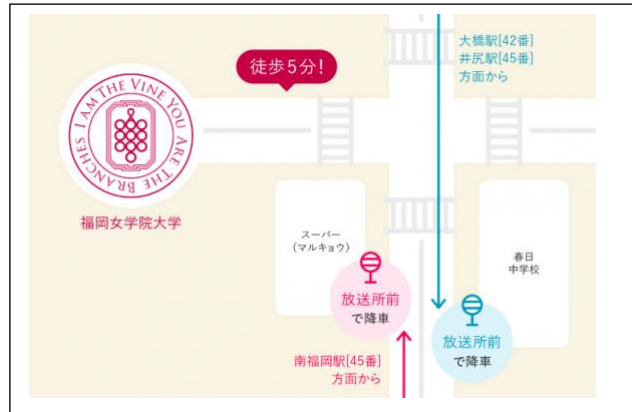
福岡女学院大学へのアクセス方法

- ・JR 鹿児島本線 南福岡駅から西鉄バス 45 番に乗車 (約 15 分)
- ・西鉄天神大牟田線 井尻駅から西鉄バス 45 番に乗車 (約 12 分)
- ・西鉄天神大牟田線 大橋駅から西鉄バス 42 番に乗車 (約 13 分)

※日曜はバス停「福岡女学院」への乗り入れがございませんので、右の手段にてお越しくださいますようお願い申し上げます。

※大学ホームページの交通アクセス情報も適宜ご参照ください。

<https://www.fukujo.ac.jp/university/access/>



福岡女学院大学の正門を入れたら正面に見えます左の写真の建物が「125周年記念館」となります。

お知らせ

- ・大会に関する問い合わせは【nose@fukujo.ac.jp】までメールでお願いいたします。
- ・当日、キャンパス内の学生食堂などは営業しておりませんので、ご注意ください。大学周辺にスーパーや弁当店がございます。